# ESMPRO/JMSS Ver7.2 クラスタ連携オプション

ユーザーズマニュアル

# はしがき

本書は、ESMPRO/JMSS クラスタ連携オプション(以降クラスタ連携オプションと称します)の機能と操作方法について説明しています。

本書の構成は次のとおりです。

| 章 | タイトル | 内　容 |
|---|---|---|
| 1 | 概要 | クラスタ連携オプションの機能概要について |
| 2 | 環境構築 | クラスタ連携オプションのインストール、環境設定、CLUSTERPROの設定について |
| 3 | 操作 | クラスタ連携オプションの操作について |
| 4 | 注意・制限事項 | クラスタ連携オプションでの注意・制限事項について |

セットアップ方法については、セットアップカードを参照してください。

2012年 9月　初 版

**備考**

(1) 本書はWindows Server® 2003、Windows Server® 2003 R2、Windows Server® 2008、Windows Server® 2008 R2 に対応しています。

(2) Windows、Windows Serverは米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。
JMSSは、日本電気株式会社の登録商標です。
その他の会社名、商品名は各社の商標または登録商標です。

# 目　次

はしがき････････････････････････････････････････････････････････････ｉ
目次･････････････････････････････････････････････････････････････････ｉｉ

**第 1 章　概要......................................................................................................................1**
1.1　クラスタ連携オプションとは ..........................................................................................1
1.2　動作環境..........................................................................................................................1
1.3　運用形態..........................................................................................................................2
**第 2 章　環境構築..................................................................................................................5**
2.1　クラスタ連携オプションのインストール .........................................................................5
2.2　クラスタ連携オプションの設定 .......................................................................................6
2.3　CLUSTERPRO の設定......................................................................................................9
**第 3 章　操作.......................................................................................................................11**
3.1　ジョブ稼働....................................................................................................................11
3.2　ジョブ監視....................................................................................................................11
3.3　サーバへの再接続 ..........................................................................................................11
**第４章　注意・制限事項 .....................................................................................................13**

# 第1章　概要

## 1.1　クラスタ連携オプションとは

クラスタ連携オプションは、CLUSTERPROシリーズと連携してESMPRO/JMSSをクラスタ運用するためのオプションです。

クラスタシステム上のすべてのマシンでジョブを実行できるだけでなく、万が一JMSSサーバや業務実行中のマシンで障害が発生しても、自動的に他のサーバに引き継ぎ、業務の継続性を高めることができます。

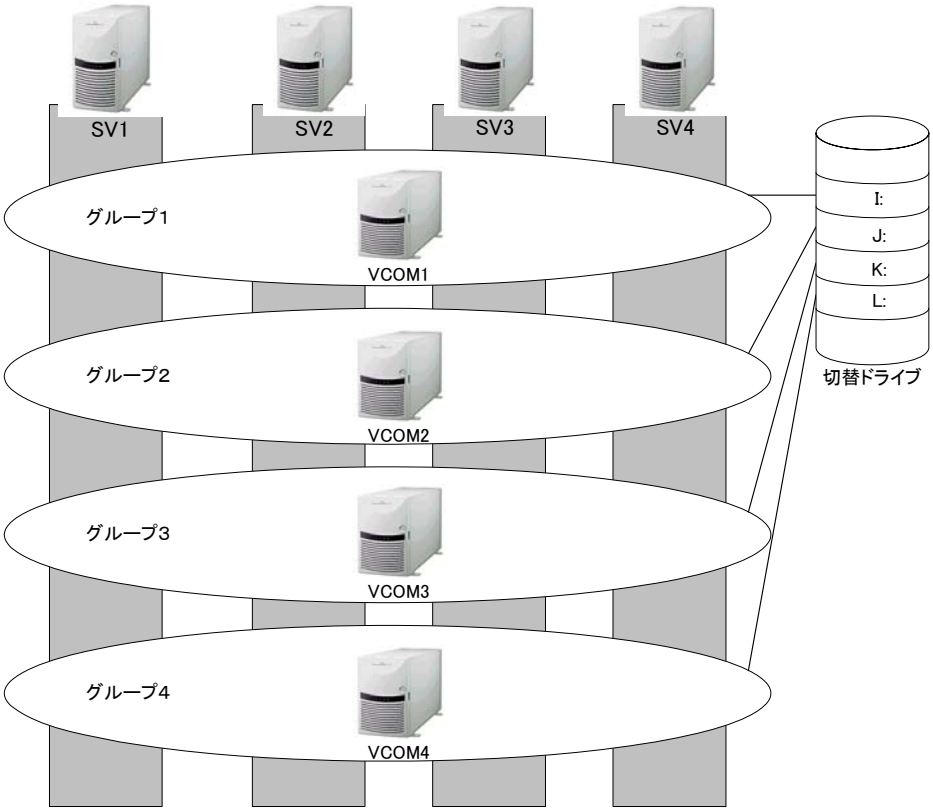
## 1.2　動作環境

動作環境については、以下のセットアップカードを参照してください。

・ESMPRO/JMSS クラスタ連携オプション セットアップカード
・CLUSTERPRO セットアップカード
・CLUSTERPRO システム構築ガイド

## 1.3　運用形態

４ノードで運用する場合は、以下のような形態になります。

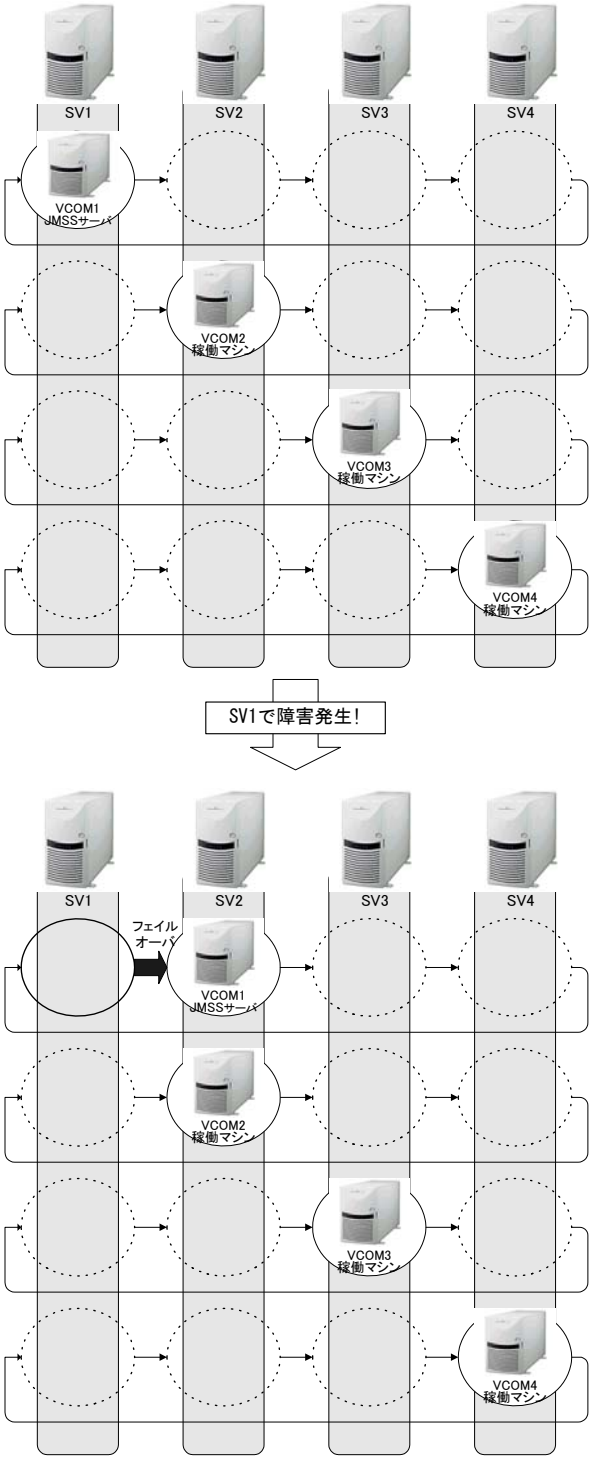



SV1，SV2，SV3，SV4はクラスタシステムを構成する各ノードです。

VCOM1，VCOM2，VCOM3，VCOM4は、フェイルオーバグループに設定されている仮想コンピュータ名です。

JMSSでは、仮想コンピュータをJMSSサーバ・稼働マシンとして運用します。

クラスタシステム上のマシンで障害が発生した場合は、自動的に他のサーバに引き継がれます。




SV2は、VCOM1およびVCOM2として稼働します。

# 第2章　環境構築

## 2.1　クラスタ連携オプションのインストール

クラスタシステム上でJMSSを運用するには、すべてのノードにESMPRO/JMSSをJMSSサーバとしてインストールし、その後すべてのノードにクラスタ連携オプションをインストールします。

インストール方法については、セットアップカードを参照してください。

**[ESMPRO/JMSS JCluster Serviceについて]**

ESMPRO/JMSS JCluster Serviceは、クラスタ連携オプションを利用するために必要なサービスです。クラスタ連携オプションのセットアップ時には、このサービスの「スタートアップの種類」は「自動」と設定されています。

## 2.2　クラスタ連携オプションの設定

クラスタ連携オプションの設定は、環境設定ツール(JClusterEnv)で設定します。
すべてのノードで同じ設定となるように設定します。

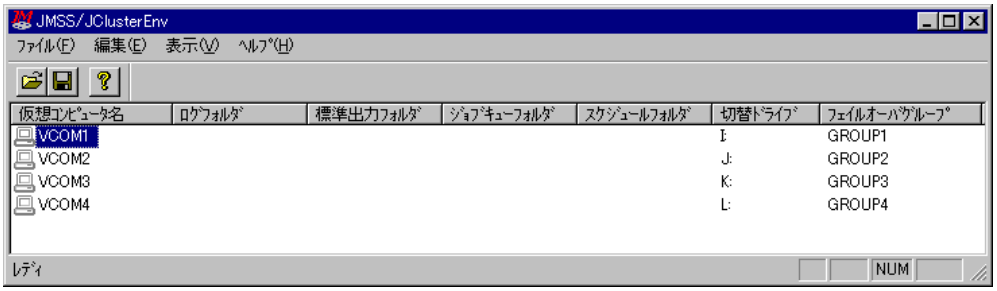
> **注意：**環境設定ツールをWindows Server 2008で実行するには、管理者権限が必要です。
> 環境設定ツール起動時にユーザーアカウント制御ダイアログが表示されます。
> （ビルトインAdministratorでログオンした場合は表示されません。）

### ●１台目のノードでの設定

**[JMSSサーバグループの設定]**

①[スタート]－[プログラム]－[ESMPRO/JMSS]グループから「JClusterEnv」を選択します。

②JClusterEnvのメインウィンドウが表示されますので、JMSSサーバとしたい仮想コンピュータ名を選択します。




③[編集]－[プロパティ]を選択します。

④プロパティ設定ダイアログボックスが表示されますので、[サーバ種別]から「JMSSサーバ」を選択します。

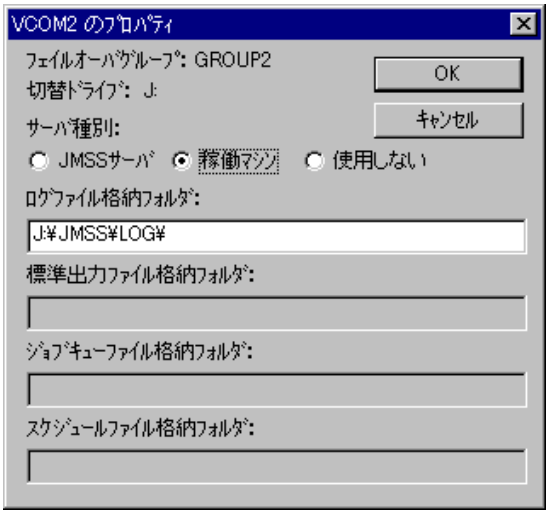
⑤ログファイル格納フォルダ、標準出力ファイル格納フォルダ、ジョブキューファイル格納フォルダ、スケジュールファイル格納フォルダの推奨値が表示されますので、[OK]ボタンを選択します。
推奨値と違うフォルダに設定する場合は、それぞれの内容を変更して[OK]ボタンを選択します。格納フォルダは、ダイアログに表示されている[切り替えドライブ]にあるフォルダを設定してください。

**[稼働マシングループの設定]**

⑥JClusterEnvのメインウィンドウで、稼働マシンとしたい仮想コンピュータ名を選択します。

⑦[編集]－[プロパティ]を選択します。

⑧プロパティ設定ダイアログボックスが表示されますので、[サーバ種別]から「稼働マシン」を選択します。




⑨ログファイル格納フォルダの推奨値が表示されますので、[OK]ボタンを選択します。推奨値と違うフォルダに設定する場合は、それぞれの内容を変更して[OK]ボタンを選択します。格納フォルダは、ダイアログに表示されている[切り替えドライブ]のフォルダを設定してください。

⑩[ファイル]-[サービス環境を更新]を選択します。

⑪[ファイル]-[CSV形式で保存]を選択し、設定内容をCSV形式ファイルに保存します。

⑫[ファイル]-[終了] を選択し、JClusterEnvを終了します。

### ●２台目以降のノードでの設定

①[スタート]－[プログラム]－[ESMPRO/JMSS]グループから「JClusterEnv」を選択します。

②JClusterEnvのメインウィンドウが表示されますので、[ファイル]-[CSV形式の読み込み]を選択し、１台目のノードで保存したCSV形式ファイルを読み込みます。

③JMSSサーバとするグループに設定されているマシンで設定した内容と同じになっていることを確認し、[ファイル]-[サービス環境を更新]を選択します。

④[ファイル]-[終了] を選択し、JClusterEnvを終了します。

残りのノードもすべて同様に設定します。

## 2.3　CLUSTERPRO の設定

停止スクリプトとレジストリ同期を設定します。

① CLUTERPRO構築ガイドの説明に従ってJMSSサーバとするグループのSTOPスクリプトを編集します。

② レジストリ同期に”HKEY_LOCAL_MACHINE ¥ SOFTWARE ¥ NEC ¥ ESJM”を設定します。

③ 稼働マシンとするグループのSTOPスクリプトを①と同様に編集します。

④ 稼働マシンとするグループすべてのSTOPスクリプトを編集し、クラスタシャットダウンします。

# 第3章　操作

## 3.1　ジョブ稼働

クラスタシステム上の仮想コンピュータに関連づけられているジョブキューにジョブを投入してください。

詳しいジョブの投入方法については、「ESMPRO/JMSS ユーザーズマニュアル」を参照してください。

## 3.2　ジョブ監視

ジョブの稼働状況は、[JMSS/JLook]メインウィンドウの[ジョブ情報]サブウィンドウに表示されます。

詳細については「ESMPRO/JMSS ユーザーズマニュアル」を参照してください。

## 3.3　サーバへの再接続

JMSSサーバのグループがフェイルオーバすると、一時的にJMSSサーバとの接続が切断されます。フェイルオーバが終了するとJMSSサーバに接続できるようになりますので、再接続してください。

**[JMSSサーバへの再接続]**

・JLook、JSchedule、JMenuでは、JMSSサーバとの接続が切断されると[接続]メニューが表示されます。[接続]メニューを選択するとJMSSサーバへ再接続することができます。

・JEnvは、JEnvを一旦終了させてから再起動すると、JMSSサーバへ再接続することができます。

# 第４章　注意・制限事項

・JMSS/JEnv で JMSS の環境を変更した場合は、JClusterEnv で[ファイル]－[サービスの更新]を選択して ESMPRO/JMSS JCluster Service の設定を更新してください。

・フェイルオーバグループの移動は、JMSS 上でジョブが実行されていないことを確認してから実施してください。JMSS 上でジョブが実行中にフェイルオーバグループを移動すると、サーバがシャットダウンされることがあります。

・クラスタシステム上ではジョブのパフォーマンス情報を採取することはできません。JMSS/JEnv で「パフォーマンスデータを採取する」と設定しても無効となります。

・クラスタシステム上では CPU 使用率での負荷分散は使用できません。JMSS/JEnv で負荷分散方式を「CPU 使用率」と設定しても、自動的に「マシン多重度」に変更されます。

・クラスタシステム上でのデータ格納フォルダは、切替ドライブにあるフォルダを設定してください。

・ESMPRO/JMSS JCluster Service は、ESMPRO/JMSS JLook Service、ESMPRO/JMSS JSchedule Service を制御しています。従って、ESMPRO/JMSS JCluster Service を停止すると、ESMPRO/JMSS JLook Service と ESMPRO/JMSS JSchedule Service も停止します。また、ESMPRO/JMSS JCluster Service を開始すると、ESMPRO/JMSS JLook Service と ESMPRO/JMSS JSchedule Service も開始します。
ESMPRO/JMSS JLook Service、ESMPRO/JMSS JSchedule Service を再起動する場合は、ESMPRO/JMSS JCluster Service を再起動してください。

ESMPRO®/JMSS® Ver7.2
クラスタ連携オプション
ユーザーズマニュアル

2012年 9月 初版

日 本 電 気 株 式 会 社
東京都港区芝五丁目7番地1号
TEL(03)3454-1111(大代表)

開発 ＮＥＣソフト株式会社
東京都江東区新木場1-18-7
TEL(03)5534-2222(大代表)

(C)NEC Corporation 1999-2012
日本電気株式会社の許可なく複製・改編などを行うことはできません.
本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります.